

橋下「改革」に

吉永小百合さん

フィギュアスケート
高橋大輔選手

ピアニスト
スタニスラフ・ブーニンさん

府民から注文・意見が あいついでいます

200万を超える
署名運動

橋下知事がすすめる「改革」には、府PTA協議会ははじめ240団体・個人が注文や要望の声を上げています。俳優の吉永小百合さん、スケートの高橋大輔選手、ピアニストのブーニンさんなど各界の著名人も再検討を求めました。こうした世論と運動で、35人学級、救命救急センターの補助金、弥生文化博物館などの廃止計画が見直されました。

「大きな赤字だから改革が必要」といって、情け容赦なく大鉈を振り落とし、弱いものも、苦しいものも関係なく、ひと撫でに切り払うのでしょうか。
(「知事に届けよう! 障害者や家族の想い・大阪ネットワーク」に取り組んだ大阪障害者団体連合会理事長・樋口四郎さん) (08年6月5日付「朝日新聞」)

| | |
|------------|---------|
| 大阪府PTA協議会 | 約105万筆 |
| 歯科医師会 | 約40万2千筆 |
| 臨海スポーツセンター | 約13万1千筆 |
| センチュリー交響楽団 | 約10万8千筆 |
| 国際児童文学館 | 約7万9千筆 |
| 街かどデイハウス | 約4万8千筆 |
| 青少年会館 | 約3万3千筆 |
| ワッハ上方 | 約2万5千筆 |

私学授業料の助成の削減

年収
288~430万円世帯 → 7万円値上げ
 年収430~540万円世帯は6万円値上げ

「お金のある・なしに関わらず学ぶ機会を与えてほしい」と、橋下知事宛に書いたメッセージカード2000人分を提出しました。喜びや悲しみ、発見や驚きを与えてくれた学校が好き。進学への道を閉ざさないでほしい。

(大阪の高校生に笑顔をくださいの会代表 大川育美さん)

「笑顔をくださいの会」が府庁前で開いた高校生集会(6月9日) ©大阪民主新報社



医療費助成

乳幼児医療、ひとり親家庭医療、
重度障がい児(者)医療、老人医療

現行月500円2回

→1割負担(窓口)に見直す方向

今回の案は、「1割負担」を来年度実施に先延ししたもの。知事の基本姿勢は変わっていない。ほとんどの障害者は、窓口で多額の支払いをし、2500円を超えた分は市役所で払い戻す手続きが必要。いくら請求されるか不安で、安心して受診できません。

(「あいほうぶ吹田」通所者の親 山下一彦さん)

府立高校の教務事務 補助員の雇いどめ

理科や家庭科の実験や実習ができなくなる、
図書館が開けなくなる

350人が一斉に「雇い止め・解雇」に!!

私は現在ダブルワークです。学校の給与(年間109万円)と下の子の児童手当と月3万円ほどのバイト料で息子2人を養っています。パートだから首切っているの?こんな条件の悪い仕事を続けてきたのは、学校が好きだからです。雇い止めはやめてください。

(府立高校教務事務補助員 横尾和美さん)

大型開発は“聖域”

「槇尾川ダムも安威川
ダムも事業は妥当」

(08年6月11日知事記者会見)



言いやすいところに負担

片山善博 前鳥取県知事

…この案から漏れ落ちている要素の一つは国だ。国の直轄事業負担金は手つかずで聖域化している。…結局、国にしても、議会にしても、うるさいところは素通りして、ものを言いやすいところに負担増を求めている印象だ。

08年6月6日付「朝日新聞」

「維新プログラム案」は
府民の声を聞いて再検討を